

本ページはDeploymentManager 6.0～6.2を使用している場合の仮想化ソフトウェア(ゲストOS)上での対応状況を記載します。

他バージョンの対応状況については、各バージョンの対応装置一覧を参照してください。

注意事項

・DeploymentManager の各機能の対応状況や注意事項については、ユーザズガイドの以下の章を参照してください。

ファーストステップガイド - 「付録A 機能対応表 仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況」

・末尾の注釈も参照してください。

・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。

○: 動作確認済み、-: 対象外

・Deploy-OSの対応状況は「対応」列を参照してください。

意味は以下の通りです。

○: 動作確認済み *11、×: 動作不可、△: 評価予定(動作可能見込み)、■: 評価予定(動作見込み不明)、

-: 未評価(動作見込み不明)

| 仮想化ソフトウェア *1 *2 *3 | バージョン | ブート | | 対応 | 対応Ver. | Deploy-OS (機種対応モジュール) *4 *5 *8 |
|-----------------------|---------------|--------|------|----|--------|--------------------------------------|
| | | Legacy | UEFI | | | |
| VMware ESX/ESXi | 3.5 | ○ | - | ○ | 6.0以降 | VMware ESX Virtual Machine 001 |
| | 4.0/4.1 *6 | ○ | - | ○ | 6.0以降 | VMware ESX Virtual Machine 001 |
| VMware ESXi | 5.0 *10 | ○ | - | ○ | 6.0以降 | VMware ESX Virtual Machine 001 |
| | 5.1 *10 | ○ | - | ○ | 6.1 | VMware ESX Virtual Machine 001 |
| | 5.1 *10 | ○ | ○ | ○ | 6.12以降 | VMware ESXi Virtual Machine 002 |

対応一覧 仮想マシン(仮想化ソフトウェア) [2/2]

| 仮想化ソフトウェア *1 *2 *3 | バージョン | ブート | | 対応 | 対応Ver. | Deploy-OS (機種対応モジュール) *4 *5 *8 |
|-----------------------|--|--------|------|----|--------|---------------------------------------|
| | | Legacy | UEFI | | | |
| Hyper-V | 1.0 (Windows Server 2008) *7 *9 | ○ | — | ○ | 6.0以降 | Microsoft Hyper-V Virtual Machine 001 |
| | 2.0 (Windows Server 2008 R2) *7 *9 | ○ | — | ○ | 6.0以降 | Microsoft Hyper-V Virtual Machine 001 |
| | Windows Server 2012 Hyper-V *9 | ○ | — | ○ | 6.12以降 | Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002 |

注釈説明

- *1:** 仮想マシンとして対応する OS は、以下の両方の条件を満たしている OS となります。
- ・DPM の管理対象マシンとして対応している OS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲスト OS として対応している OS
 - ◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
 - ◆Hyper-V(Windows Server 2008) : <http://support.express.nec.co.jp/w2008/hyper-v.html>
 - ◆Hyper-V(Windows Server 2008 R2) : <http://support.express.nec.co.jp/os/w2008r2/hyper-v-v2.html>
 - ◆Hyper-V(Windows Server 2012) : <http://support.express.nec.co.jp/os/w2012/hyper-v.html>
- *2:** Wake On LAN が動作しない場合があります。動作しない場合は、手動で電源を ON してください。
- *3:** 仮想マシンに対して、「シナリオ実行条件」に「実行後に電源を切断する」を指定したシナリオを配信した場合は、シナリオ実行後に電源を切断できません。
- 仮想マシンをネットワークブートを使用して DPM に自動登録した場合は、自動電源 OFF できません。
- 以上の場合には手動で電源を切ってください。
- *4:** 管理対象マシンに対して、使用する機種に対応した Deploy-OS の設定が必要になることがあります。詳細は以下を参照してください。
- 「リファレンスガイド 3.9.2 新規マシン登録」
- *5:** DHCP サーバを使用しない運用の場合は、ブータブル CD が必要になります。詳細は以下を参照してください。
- 「オペレーションガイド 付録 A」
- *6:** 「DHCP サーバを設置しない」運用で VMware ESX4.1/ESXi4.1 の仮想マシンのバックアップ/リストアを行う場合は、処理対象のディスクよりも CD/DVD ドライブが先に認識されるため、1 本目のバックアップ/リストア対象ディスクのディスク番号が 2 になります。
- バックアップ/リストアシナリオ実行前にディスク構成チェックを行ってディスク番号の確認を行ってください。
- *7:** DeploymentManager でバックアップ/リストア可能な仮想ハードディスクの最大容量は 127GB になります。
- *8:** 登録直後の管理対象マシンには「デフォルトの値を使用」が設定されます。
- DPM6.0 を使用する場合は、「デフォルトの値」は以下の値を設定したものと同一になります。
- Deploy-OS の設定
 - NEC Express5800 002
 - VMware ESX Virtual Machine 001
 - Microsoft Hyper-V Virtual Machine 001
 - ブータブル CD 格納フォルダ
 - ia32_110331_26
- DPM6.1 以降を使用する場合には、「デフォルトの値」については製品添付のリファレンスガイドを参照してください。
- *9:** 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。また、仮想マシンに割り当てる CPU 数を増やすことで、さらに性能が低くなります。詳細は以下をご参照してください。
- <http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/> - [注意事項] - [各バージョンの注意事項] - [Hyper-V の仮想マシンを管理する場合の注意事項]

***10:** 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製 OS インストールが可能です。

(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)

•NIC

- E1000
- E1000E
- フレキシブル

•Storage

- SCSI BusLogic パラレル(仮想マシンのメモリは 3GB 以下)
- SCSI LSI Logic パラレル
- SCSI LSI Logic SAS
- IDE

•CD/DVD

- IDE

***11:** ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェア ID 等による机上確認を含みます。